



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社マキヤ

コード番号 9890 URL <https://www.makiya-group.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 早川 紀行

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員管理本部長兼経理・財務部長 (氏名) 竹島 剛 TEL 0545-36-1000

四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 2023年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	37,394	7.0	987	39.5	1,058	32.6	716	34.4
2023年3月期第2四半期	34,942	3.2	707	△9.3	797	△5.2	533	△22.5

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 805百万円 (56.3%) 2023年3月期第2四半期 515百万円 (△35.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	71.78	—
2023年3月期第2四半期	53.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	34,983	18,511	52.9	1,854.23
2023年3月期	33,499	17,780	53.1	1,781.07

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 18,511百万円 2023年3月期 17,780百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
2024年3月期	—	10.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,100	5.9	2,130	30.2	2,300	26.9	1,470	23.8	147.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	10,540,200株	2023年3月期	10,540,200株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	556,908株	2023年3月期	556,908株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	9,983,292株	2023年3月期2Q	9,983,371株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の5類への移行等により、サービス消費やインバウンド消費が正常化し緩やかに回復しているものの、依然として物価上昇や海外経済の減速等の懸念もあり、先行きの不透明な状況で推移しております。

当小売業界におきましては、地方で深刻化する「少子高齢化と人口減少」、社会保障費負担等の増加やインフレ物価高による生活コストの増大等による「可処分所得の減少」、大手企業の出店戦略やeコマースの拡大等による「競争の激化」、原料供給側に起因するコストプッシュ型のインフレによる「消費者マインドの低下」等、依然として厳しい経営環境にあります。

このような状況の中、当社グループは、お客様の「毎日の生活」を、より豊かに、楽しく、健康で、快適にする、「より良い商品」を、「安心の価格（価値価格の安さ）」と「温かいサービス」でご提供し、社会に貢献する、「働き易い、高収益企業」になるという中長期基本方針の実現のために編成した、中長期経営改革プロジェクト『MAP3』（Makiya-group Advancing Profit 3）に掲げる経営改革目標数値の実現のため、①「商品力・品揃え」の徹底強化、②「安心安価（ELP）」の実践とPB（プライベートブランド）・LB（ローカルブランド）の販売強化、③「ロス額」削減と「過剰在庫・死に筋在庫」の撲滅、④「品薄・欠品」の撲滅とボリューム陳列、⑤「作業改革」で「働き方」改革の推進、を重点実践テーマとし、経営基盤の強化と企業価値の向上に取り組んでおります。

また、当社グループは、持続可能な社会の実現を目指し、サステナビリティに関する諸課題の解決に取り組んでおります。環境問題につきましては、循環型社会・脱炭素社会の実現に向けた「環境への負荷低減」を最重要課題の1つとして捉え、事業活動における資源の有効活用、省力化及び効率化を図っております。取り組みの一環として2023年8月に、自社の事業活動が環境に与える影響が大きいと考えられる「食品廃棄」削減、「CO2排出」削減をサステナビリティ・パフォーマンスターゲットとし、サステナビリティ・リンク・ローンによる融資契約を締結し、運転資金を調達いたしました。

なお、当第2四半期連結会計期間の店舗政策につきましては、以下のとおりであります。

区 分	店 舗 名	年 月	備 考
改 装	エスポット函南店 (静岡県田方郡函南町)	2023年7月	売場最新化、ドラッグの導入
改 装	マミー原町店 (静岡県沼津市)	2023年8月	売場最新化

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、営業収益は37,709百万円（前年同期比6.9%増）、営業利益は987百万円（前年同期比39.5%増）、経常利益は1,058百万円（前年同期比32.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は716百万円（前年同期比34.4%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①小売業

営業収益は37,499百万円（前年同期比7.0%増）となりました。「フード（食品）」部門につきましては、「エスポット（フード）」、「ポテト・マミー」、「業務スーパー」の全ての業態で好調に推移し、生鮮食品、日配食品、加工食品のいずれも引き続き前年同期を上回り、前年同期比8.3%増となりました。「ノンフード（非食品）」部門につきましても、HBC（ヘルス&ビューティーケア）商品及びリユース事業が順調に推移し、前年同期比1.8%増となりました。

営業利益は1,098百万円（前年同期比30.8%増）となりました。これは売上高の増加に伴う売上総利益額の増加と、経費面においては給与のベースアップ等による人件費コストの増加があったものの、「作業改革」により生産性が向上したことと、電力消費量の削減対策及び政府の激変緩和措置等による電力料金単価の引き下げにより水道光熱費が減少したこと等により経費率が1.0%改善したこと等によるものであります。

②不動産賃貸事業

営業収益は210百万円（前年同期比3.1%減）、営業利益は79百万円（前年同期比2.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は34,983百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,483百万円増加いたしました。

流動資産は11,178百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,282百万円増加いたしました。これは、現金及び預金が1,281百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は23,805百万円となり、前連結会計年度末と比較して201百万円増加いたしました。これは、敷金及び保証金が189百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は16,472百万円となり、前連結会計年度末と比較して753百万円増加いたしました。

流動負債は11,230百万円となり、前連結会計年度末と比較して364百万円増加いたしました。これは、買掛金が57百万円減少したものの、流動負債のその他が233百万円、短期借入金が176百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は5,241百万円となり、前連結会計年度末と比較して389百万円増加いたしました。これは、設備及び運転資金等の資金調達により長期借入金が407百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は18,511百万円となり、前連結会計年度末と比較して730百万円増加いたしました。これは、利益剰余金が641百万円増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末と比較して1,281百万円増加し、3,645百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払額が345百万円あったものの、税金等調整前四半期純利益が1,058百万円、減価償却費が641百万円あったこと等により1,370百万円の収入となり、前第2四半期連結累計期間より収入が444百万円増加いたしました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の取得による支出が378百万円あったこと等により389百万円の支出となり、前第2四半期連結累計期間より支出が85百万円減少いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出が716百万円、リース債務の返済による支出が208百万円、配当金の支払額が74百万円あったものの、長期借入れによる収入が1,300百万円あったこと等により300百万円の収入となり、前第2四半期連結累計期間より収入が181百万円減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の下期連結業績につきましては、気象庁の長期予報で暖冬が予想されており、冬物商品等の売れ行き動向に懸念があること、経費面においては物流コストや人件費コストの上昇が想定されるものの、食品等の原材料価格の高騰による販売価格の上昇のほか、「安心安価（ELP）」の価格戦略、マキヤプリカなどによる販促施策の強化、「作業改革」による生産性の向上等の効果により、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、前回発表予想を上回ることが想定されるため、通期連結業績予想を上方修正いたします。

詳細については、本日（2023年11月7日）公表いたしました「2024年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,364,250	3,645,626
売掛金	1,411,423	1,623,883
商品	5,623,448	5,570,574
その他	496,698	338,472
貸倒引当金	△178	△209
流動資産合計	9,895,641	11,178,347
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,092,442	8,991,791
土地	7,989,786	7,989,786
その他(純額)	1,069,357	1,110,701
有形固定資産合計	18,151,586	18,092,279
無形固定資産	963,742	908,914
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,937,242	3,126,261
その他	1,551,442	1,678,727
貸倒引当金	—	△1,000
投資その他の資産合計	4,488,685	4,803,988
固定資産合計	23,604,014	23,805,182
資産合計	33,499,656	34,983,529
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,597,484	5,539,957
短期借入金	1,834,105	2,010,235
未払法人税等	392,128	376,256
契約負債	797,528	816,444
賞与引当金	150,982	159,837
役員賞与引当金	4,972	5,250
その他	2,088,932	2,322,399
流動負債合計	10,866,133	11,230,381
固定負債		
長期借入金	2,423,898	2,831,688
退職給付に係る負債	615,433	628,589
役員退職慰労引当金	104,840	108,170
資産除去債務	626,891	631,706
その他	1,081,508	1,041,650
固定負債合計	4,852,571	5,241,804
負債合計	15,718,705	16,472,185

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,198,310	1,198,310
資本剰余金	1,083,637	1,083,637
利益剰余金	15,594,786	16,236,570
自己株式	△446,350	△446,350
株主資本合計	17,430,383	18,072,167
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	369,318	452,452
退職給付に係る調整累計額	△18,750	△13,276
その他の包括利益累計額合計	350,568	439,175
純資産合計	17,780,951	18,511,343
負債純資産合計	33,499,656	34,983,529

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	34,942,740	37,394,178
売上原価	27,002,859	29,015,526
売上総利益	7,939,881	8,378,652
営業収入		
不動産賃貸収入	324,374	315,618
営業総利益	8,264,255	8,694,270
販売費及び一般管理費	7,556,799	7,707,024
営業利益	707,456	987,245
営業外収益		
受取利息	9	15
受取配当金	7,042	8,280
受取手数料	36,782	35,421
リサイクル収入	22,332	22,343
事業譲渡益	33,000	—
その他	22,581	33,272
営業外収益合計	121,749	99,333
営業外費用		
支払利息	9,306	9,505
株主優待費用	9,681	11,037
その他	12,448	8,007
営業外費用合計	31,436	28,550
経常利益	797,768	1,058,029
税金等調整前四半期純利益	797,768	1,058,029
法人税、住民税及び事業税	227,228	329,550
法人税等調整額	37,291	11,819
法人税等合計	264,520	341,369
四半期純利益	533,248	716,659
親会社株主に帰属する四半期純利益	533,248	716,659

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	533,248	716,659
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25,880	83,133
退職給付に係る調整額	7,756	5,474
その他の包括利益合計	△18,123	88,607
四半期包括利益	515,125	805,266
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	515,125	805,266
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	797,768	1,058,029
減価償却費	629,651	641,035
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	13	1,031
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△30,694	8,855
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,555	278
契約負債の増減額 (△は減少)	91,150	18,916
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△43,222	20,960
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	—	△48,050
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△8,710	3,330
受取利息及び受取配当金	△7,051	△8,295
支払利息	9,306	9,505
売上債権の増減額 (△は増加)	△114,744	△212,460
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△112,773	54,523
仕入債務の増減額 (△は減少)	△160,177	△57,527
未払消費税等の増減額 (△は減少)	126,723	92,876
その他	16,867	133,361
小計	1,192,553	1,716,368
利息及び配当金の受取額	7,051	8,295
利息の支払額	△9,609	△9,466
法人税等の支払額	△264,482	△345,176
営業活動によるキャッシュ・フロー	925,513	1,370,020
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△466,686	△378,851
敷金及び保証金の差入による支出	△7,150	△6,069
敷金及び保証金の回収による収入	352	—
その他	△1,732	△4,696
投資活動によるキャッシュ・フロー	△475,216	△389,616
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,500,000	1,300,000
長期借入金の返済による支出	△725,485	△716,079
自己株式の取得による支出	△64	—
リース債務の返済による支出	△217,301	△208,740
配当金の支払額	△74,279	△74,207
財務活動によるキャッシュ・フロー	482,869	300,972
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	933,166	1,281,376
現金及び現金同等物の期首残高	1,244,822	2,364,250
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,177,989	3,645,626

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。